



第5回 提言討論会

戦争とスポーツを考える

安倍政権は、日本を戦争をする国にすることを目的にした戦争法案を衆議院で強行採決しました。しかし、憲法破壊のこの異常な法案と立憲制民主主義を根底から否定する議席の多数の暴挙に対して、憲法学者が違憲との態度を示し、マスコミ各紙の世論調査でも戦争法案反対が賛成を上まわるなど、国民の怒りの声と草の根からの行動が全国で燎原の火のごとくひろがっています。

安倍政権は、参議院で否決されても、衆議院での再可決による強行突破の道を突きすすもうとしています。国民はそれを絶対に許しません。みなさん。平和であってこそそのスポーツです。

平和の祭典・オリンピックパラリンピックを戦争法案で汚すことは許されません。

提
言



青沼裕之

武蔵野美術大学教授・新日本スポーツ連盟スポーツ科学研究所事務局長



宇都宮健児

弁護士・2014年都知事選挙候補者

報告：横田基地とオスプレイ・新国立競技場などオリンピックをめぐる動き

日時：2015年**9月7日**(月) 18:30～

会場：大塚・ラパスホール(東京労働会館 7F)

(JR山手線大塚駅 徒歩6分)

資料代：1000円(学生・障害者500円)

問い合わせ：2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会

TEL:03-3981-1345 FAX:03-3981-8315

